

夢のつばさプロジェクト 2016年 春の交流会 学生報告書

【日程】 2016年3月27日(日)

【場所】 仙台市青葉区中央市民センター、富沢市民センター

【参加者】 子ども 15名(小学生9名、中高生6名)、保護者 5名、大学生ボランティア 23名、社会人ボランティアスタッフ 2名

◆2016年春の交流会について

夢のつばさプロジェクトの春の交流会は、今回で通算4回目となりました。開催地の仙台は、冬の寒さがすっかり和らぎ、春の訪れをすぐそばに感じるとても良い気候でした。

今回は午前中、青葉区中央市民センターにて、子どもたちと学生はカレー作りを行い、その隣のお部屋で保護者の方々と一部学生・社会人スタッフの懇談会も行いました。午後には、富沢市民センターに移動し、体育館で身体を思いっきり動かして遊びました。

子どもたちとスタッフ、そして子どもたち同士の仲の深まる、あたたかな交流会となりました。以下に詳細をご報告いたします。

◆タイムスケジュール・詳細

時間	子どもたちの動き	保護者の動き
10:10	子どもたち仙台駅集合	
10:20	仙台駅発	
10:40	青葉区中央市民センター着	10:45～12:00
11:00	カレーづくり(*1)開始	保護者懇談会(*3)
12:35	片付け終了	
12:45	青葉区中央市民センター発	
13:30	富沢市民センター着 体育館遊び開始(*2)	

15:40	富沢市民センター発	
16:10	仙台駅到着	
16:30	解散	

* 1 カレー作り

今回のカレー作りは、2015年冬キャンプで有志の子どもたちが学生と一緒に考えてくれた企画でした。青葉区中央市民センターの調理室をお借りし、子どもと学生を合わせて6～7人の班で、カレーのルーを作り、ご飯もお鍋で炊きました。班で協力して作業を進める様子はとても微笑ましく、小学校低学年の小さな子たちも、一生懸命お米を研いだりルーを混ぜたりしていました。全員そろって「いただきます」をしてからは、「おいしいね」という声があちこちから聞こえてきました。楽しく、誰一人ケガをすることもなく、おいしいカレーができて、子どもたちも満足・満腹そうでした。



* 2 体育館遊び

青葉区中央市民センターから電車と徒歩で移動し、富沢市民センターにやってきました。この体育館でも、冬キャンプの時の話し合いで子どもたちに一番人気だったドッジボールをしました。3チームにわかれて総当たりで戦いましたが、男の子も女の子も一緒になって盛り上がり、とても白熱したゲームになりました。ドッジボールのあとは、体育館内で自由に遊ぶ時間をたっぷりとることができ、バスケットボールや巨大バドミントン、ビーチバレーなどをして楽しみました。トランプで盛り上がっているグループもありました。こうした自由に学生と遊べる時間が、子どもたちの笑顔が最高潮になる瞬間でもあり、今後もこのような時間を大切にしていきたいです。



* 3 保護者懇談会

今回の保護者懇談会は、子どもたちの保護者5名を迎え、学生スタッフ4名、社会人スタッフ2名と計11名での開催となりました。保護者のみなさまからは、ご家庭での子どもたちの様子や夢のつばさへの率直なご意見等、さまざまなお話がありました。なかでも、子どもたちが夢のつばさのキャンプを毎回とても楽しみにしているというお言葉には、スタッフとして大きな喜びを感じました。以前も交流会に参加された方々はもちろん、初めてご参加くださった保護者の方とも、距離が縮まった会であったと感じています。私たちスタッフからも、キャンプでの子どもたちのエピソードや活動に対する思いを直接保護者の方々にお伝えすることができ、非常に良い機会となりました。今後も、子どもたちのみならず保護者のみなさまとも交流を重ねていければ幸いに思います。

◆春の交流会を終えて

今回は、いつもの交流会以上に、閉会の挨拶時の子どもたちの満足げな笑顔が印象に残っています。半日足らずの短い時間にも、十分に楽しんでくれたことが伝わる表情でした。

このことには、前回の冬キャンプで企画案を出し、一緒に話し合いをしてくれた有志の子どもたちの力が大きかったと感じています。彼らは、子ども側の率直な意見、つまり子どもたちにとっては、学生スタッフたちとどう過ごすのが一番楽しいかを私たちに提示してくれました。そのおかげもあって今回は、同じ空間で一つの料理を作る楽しさや、何気ない遊びを一緒に思いっきりするおもしろさを、参加者全員で共有できたと思います。またこんなふうに、子どもたちと一緒に交流会やキャンプを作れたら嬉しいです。

帰り際、「夏キャンプも絶対行くねー！」と声をかけてくれた子がたくさんいました。その約束は、私たちスタッフにとっては本当にかげがえのないものです。また次回はさらにたくさんの素敵な笑顔に会えるように、スタッフ一同力を合わせたいと思いますので、これからも、夢のつばさプロジェクトを、どうぞよろしく願いいたします。

最後に、参加してくださった子どもたちと保護者のみなさま、ならびに社会人スタッフのお二方に心より感謝の意を表しまして、2016年春の交流会のご報告とさせていただきます。

大学生ボランティア代表 お茶の水女子大学2年 野川志織